

「第2回全国青少年書き初め大会」開催要項

1. 趣旨 日本における書の伝統と文化を通して、全国の青少年の交流を促進するとともに、伝統と文化の理解を深め尊重する態度を養い、生涯にわたり書を愛好する心情を育てることを目的として、全国青少年書き初め大会を実施する。
2. 主催 国立青少年教育振興機構
3. 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター スポーツ棟大体育室 など
(住所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号)
4. 実施日 平成24年1月4日(水)

9:00～10:30	開場・受付、練習可能	<u>10時10分までに受付・指定会場に入場する。</u>
10:30～10:45	開会式	
10:45～12:15	席書	
12:15～12:30	片付け	
12:30～14:30	審査、参加者は一旦退室し昼食・交流会	
14:30～15:00	審査委員によるデモンストレーション	
15:00～16:00	表彰式	

- 1月3日(火)13時～17時は、会場での練習を可とする。
- 1月3日(火)及び4日(水)の両日も国立オリンピック記念青少年総合センター宿泊を可とする。(参加者・引率者の宿泊費用は無料)
- 1月4日(水)表彰式終了後、16時半～17時に懇親パーティーを開催する。

5. 対象 高校生(高専生、専修学校生等を含む)・大学生(大学院生、専門学校生等を含む 但し25才以下)約300名
6. 参加費 無 料
7. 持ち物 筆、墨(墨液可)、硯、画仙紙(半切)※、毛氈、文鎮、筆記用具、自用印、新聞紙(作品を乾かす際に下に敷くもの)、上履き、その他席書に使用するもの。
※ 画仙紙については、一人に20枚配布する。特定の画仙紙を希望する場合や、枚数が足りない場合は持参する。
8. 応募方法 (1) 団体応募 高等学校、大学専攻・クラブ・サークル、書道団体等として応募することができる。なお、1団体は10名以上とする。
(2) 個人応募 所属団体に関わりなく、応募することができる。
[方法] 当機構ホームページより「第2回全国青少年書き初め大会 参加申込書」をダウンロードし、必要事項を記入したうえ、E-mail、郵送、FAXのいずれかの方法で応募する。
○当機構ホームページ：<http://www.niye.go.jp/> <「青少年機構」で検索>
○「参加申込書」をダウンロードできない場合は郵送する。
9. 応募締切 平成23年11月4日(金)まで 4日消印有効
10. 応募先 国立青少年教育振興機構教育事業部企画・推進課 全国青少年書き初め大会 係
住所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
E-mail：honbu-taiken1@niye.go.jp
11. 参加決定 応募多数の場合は、抽選にて参加者を決定する。
参加決定通知は、11月16日(水)までに郵送する。
なお、参加者には、決定通知とともに詳細案内を同封する。

【大会概要】

1. 部門 <高校生の部>、<大学生の部>別に、「漢字」・「仮名」・「漢字仮名交じり」の3部門とする。また、課題については「臨書」・「自由」から選択する。
2. 課題
 - ①自由の部
 - 書き初めにふさわしい題材詩文とする。
 - 書体は自由とする。仮名作品は、変体仮名の使用を可とする。
 - 字典の持ち込みは可とするが、手本の持ち込みは不可とする。
 - 没後 50 年以上の著作者の作品を課題とする場合は、著作物利用許諾は必要ない。
 - 課題とする題材詩文が著作権保護されている場合には、予め参加者自身が著作権者及び著作者に対し、利用許諾を得る必要がある。
 - ②臨書の部
 - 古典の臨書とする。但し、臨書の課題については自由とする。
 - 語句については、文章の初めから意味の通る連続した部分を揮毫することとする。
 - 法帖の持ち込みは、可とする。
 - *集字による作品は不可とする。
- ※落款について
自由の部については氏名または名を、臨書の部については『〇〇臨』とそれぞれ自署し、落款印の押印を可とする。
自由の部は作品によって、臨書の部は仮名作品についてそれぞれ落款印の押印のみも可とする。
落款印は自用印のみ可とする。但し学校等所属団体の印の使用は不可とする。
3. 作品寸法 半切 (135cm×35cm 対幅・横書き不可)
4. 審査 審査委員会により行う。
5. 表彰 (予定) 文部科学大臣賞、日本放送協会会長賞、国立青少年教育振興機構理事長賞 他各賞は、個人、団体とも設定する。
6. 入賞作品 入賞作品は主催者が表装(軸装)し、展示会終了後に返却する。
 - 入賞作品は、今後当機構が作成する「作品集」・「ホームページ」・「事業案内」等に使用する。
7. 展示会 入賞作品は、平成 24 年 2 月 1 日(水)～2 月 29 日(水)まで国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟に展示する。

12. 審査委員 高木 聖雨 大東文化大学教授、北京大学書法藝術研究所客員教授
加藤 泰弘 東京学芸大学准教授
(併) 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
齋藤 克美 大東文化大学講師
全国書道高等学校協議会顧問
須佐 尚子 新潟県立三条東高等学校長
全日本高等学校書道教育研究会副会長
森岡 隆 筑波大学大学院教授
田中 壮一郎 国立青少年教育振興機構理事長

13. 協力 **NHK**
(予定) 全国高等学校文化連盟書道専門部、全国書道高等学校協議会、
全日本高等学校書道教育研究会、全日本高等学校芸術教育協議会、
全国大学書道学会

14. 個人情報 参加者の個人情報は、作品集や当機構ホームページへの掲載、報道機関等への成績発表、展示作品の紹介など本大会の運営に必要な場合や、次年度の書き初め大会など国立青少年教育振興機構が主催する事業の案内を発送する場合に使用する。

【担当】国立青少年教育振興機構教育事業部
企画・推進課 体験活動第一係 山本・水澤
電話：03-6407-7717, 7716
E-mail: honbu-taiken1@niye.go.jp